

事務事業名	3510 男女共同参画推進事業	予算科目	会計 一般	款 2	項 1	目 7	所管課 市民生活課	担当班 市民生活支援班
基本施策	15 互いに認め合う社会の形成	根拠法令	男女共同参画基本法、DV防止法等				事業種別 <input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業	
施策の展開	29 男女共同参画の推進	戦略事業	142 男女共同参画社会づくり啓発事業					
施策の展開		戦略事業	143 審議会等への女性委員登用の促進					

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない				
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 25 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	1. 旭市男女共同参画計画推進 (計画期間:平成26～30年度) 基本目標「男女が互いを尊重する社会づくり」、「男女が個性と能力を發揮できる環境づくり」、「男女が安全安心に暮らせる社会づくり」 2. 男女共同参画推進懇話会:男女共同参画計画の策定及び推進。委員の委嘱、懇話会の開催				
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等			
男女共同参画社会基本法が平成11年に制定され、旭市でも、男女が人権を尊重、責任を分担、個性と能力を發揮できる社会の実現に向けた旭市男女共同参画計画を平成25年度に策定した。	女性の社会参加はまだ進んでおらず、審議会等の女性委員の割合や、女性管理職の割合は目標に達していない。	懇話会委員より「依然として女性は結婚や出産・子育てを機に離職する傾向にある。また、男性が育児休暇・介護休暇を取得することが難しい。」との意見あり。			

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算) 単位:千円							
1.臨時雇賃金	237	市民意識調査集計のため臨時職員雇用					
2.報償金	168	推進懇話会委員謝礼金					
3.需用費	31	懇話会用お茶代					
4.役務費	418	市民意識調査実施のため(郵送料)					
5.その他	0						
② 特定財源の内訳(29年度の決算) 単位:千円							
1.国庫支出金	0						
2.都道府県支出金	0						
3.地方債	0						
4.その他	0						

事業費	1.臨時雇賃金	千円	0	0	0	237	0
	2.報償金	千円	142	84	102	168	198
	3.需用費	千円	88	2	1	31	204
	4.役務費	千円	99	0	0	418	0
	5.その他	千円	33	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	362	86	103	854	402
財源	1.国庫支出金	千円					
	2.都道府県支出金	千円					
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円					
	5.一般財源	千円	362	86	103	854	402

前年度増減理由: 市民意識調査を実施したため

従事職員数: 常時 1人 最大 人 × 日 = 延べ 0人

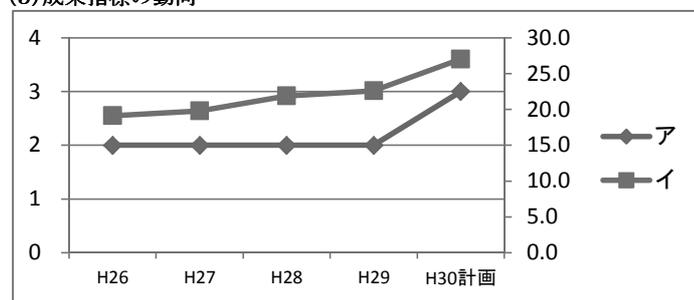
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動) 男女共同参画推進懇話会の開催 第2次旭市男女共同参画計画の策定のため市民意識調査		ア 懇話会の開催回数	回	1	2	2	3	3
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	対象意図: 市民 男女それぞれが個性と能力を十分に發揮することができる男女共同参画社会の必要性を理解する 対象意図: 市民 男女それぞれが個性と能力を十分に發揮することができる男女共同参画社会になること		ア 男女共同参画意識啓発機会の提供回数(広報紙以外の啓発回数)	回	2	2	2	2	3
			イ 審議会等における女性委員の割合	%	19.1	19.8	21.9	22.6	27.0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	成果向上余地 かなりある	評価結果	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	普通	ある程度ある		①		
	小さい	ほとんどない		②		
			③			
			④⑤	(8)		
			⑥			
			⑦⑧			
			⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難				
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	比較
【コメント】 (低下の場合、その理由)			数値増=成果向上	<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	25年度 26年度
					26年度 27年度
					27年度 28年度
					28年度 29年度
					29年度 30計画
③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容		今後の方向性	
	H30.7～H31.2	第2次男女共同参画計画(平成31年3月策定)に係る推進懇話会及び策定委員会の開催		<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止・休止
				<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> その他()	
				H30年度	第2次旭市男女共同参画計画の策定(DV防止法に基づく基本計画、女性活躍推進計画としても位置づけ)